

平成 28 年 5 月 18 日

新営業店システムの導入について

株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫）は、お客さまへのサービス向上を目的として、株式会社NTTデータ（代表取締役社長：岩本 敏男）の勘定系端末ソフト※「BeSTAlinc（ベスタリンク）」を採用した新営業店システムの導入を平成 28 年 5 月 18 日(水)より開始し、平成 28 年 12 月末までに全営業店に展開します。

新営業店システムの活用により、お客さまへのサービス向上、スピーディな対応による待ち時間の短縮に努めて参ります。

※ 勘定系端末ソフトとは、勘定系ホストに接続し、勘定系ホストで保有している顧客情報等に対し、入出金、残高等の各種照会、設定変更などの取引を実現するために端末へ搭載するソフトウェアのことで。

記

<新営業店システムの主な機能>

1. 事務ナビゲーション機能の導入（平成 28 年 12 月予定）

煩雑な事務作業の流れを営業店端末の画面に表示するナビゲーション機能を導入します。ナビゲーション通りに操作することで、スピーディかつ正確な対応が可能となります。

2. 手数料計算処理の自動化

為替取引時の手数料を自動算出し、端末画面に自動入力されます。これまで行員が手計算で実施した運用に比べ、取引の厳正化と処理時間の短縮を図ります。

3. 複数画面を一括で照会（平成 28 年 12 月予定）

取引確認にあたり、複数の画面照会が必要なオペレーションについては、1度のオペレーションで複数の照会取引が可能となり、スピーディかつ確実な事務処理が可能となります。

4. 店舗レイアウトに応じた端末の導入

銀行業務専用の端末での操作に加え、パソコンでも勘定取引を行うことができるため、小規模店に合わせた機器の配置を行うことで、業務スペースの有効活用を図ることが可能となります。

以上

本件に関するお問い合わせ先：事務企画部 工藤 0235-28-2410